

三

三月二日

官報

丙 大正十三年三月二日

立案 大正十年三月二日
決裁 大正十年三月二日

中原邦平 特旨叙位ノ件

宗秩寮總裁

宮内事務官

爵位課長

シタ

大正十年三月二日 官報 告濟
臺帳記入 三月二日 官報 告濟

宮内省

(九大)

裏面白紙

22



中原邦平特旨叙位ノ件

右謹テ奏ス

大正十年三月二日

内閣總理大臣原敬



内

閣

第 號

案 起
十年三月 日

裁可
十年三月二日

施行
年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長



中原邦平ハ文部大臣上申、通功績顯著者ニ付特旨叙位、件上奏相成然ルヘシ

中原邦平

特旨ヲ以テ位記ヲ賜フ

内閣

中原邦平

叙從六位

病氣危篤

めくれず

敘從位 維新史料編纂會委員常任委員中原邦平
右者明治十四年十一月陸軍省御用掛トナリ參謀本
部翻譯課及編纂課ノ事務ニ服シ同十八年十二月
依願退職ノ後ハ畢生ノ事業トシテ維新史ノ研
究ニ從事シ造詣スル處頗ル深ク特ニ防長ノ
勤王史ニ関シテハ當代ノ權威ナリ明治四十三年維
新史料編纂會ノ前身ナル彰明會ノ創設
セラルルヤ山縣松方井上等諸元勳ヲ輔ケ主トシテ
其ノ衝ニ當リ銳意維新史ノ研究及其ノ史料

内閣

ノ蒐集保存ヲ圖リ同志ト供ニ大ニ努力經營
スル所アリ翌四十四年維新史料編纂會ヲ創設
ラルルヤ其ノ委員ヲ命ゼラレ更ニ常任委員ニ舉ゲラレ
總裁ヲ輔ケテ同會事業基礎ノ確立ニ參画シ
其ノ功績尠カラス以未十閱年或ハ史料ノ蒐集シ
或ハ史料稿本ノ檢閲ニ從事シ編纂官指
導誘掖シテ同會事業ノ大成ニ貢獻シタル功績
實ニ顯著ナルモ、ナリ其間傍ラ毛利公爵家
ノ囑託ヲ受ケテ同家ノ編纂事業ヲ統督シ
更ニ餘力ヲ以テ毛利敬親勤王事蹟ニ卷井上

伯傳七卷ヲ著シ維新史ノ研究ニ裨益スルヲ
歎カラス然ルニ去月十日病魔ノ犯ス處トナ
リ以來百方療養ニカメタルモ昨今ニ至リ病
倣ニ改リ命旦夕ニ迫ル北異クハ此ノ際同侪
記ノ功績ヲ録セラレ特ニ頭書ノ通り敘位
ノ榮ヲ與ヘラレシコトヲ茲ニ謹テ奏ス

大正十年三月一日

文部大臣中橋徳五郎

内

閣

三月二十一日

大正十年三月一日

内閣書記官



内閣總理大臣ノ

内閣書記官長



中原邦平ハ文部大臣上奏、通致録顯
著ナル者ニ付特旨叙位、件上奏和成
然ルヘシ

中原邦平

特旨ヲ以テ位記ヲ賜フ

中原邦平

内閣

叙從六位

一初巻ノ末

三月二十一日

十年三月一日

内閣書記官



總理大臣ノ

内閣書記官長



邦平ハ文部大臣上奏、通致練頭
此後、付特旨叙位、仲上奏和成
ハシ

中原邦平

同日此ヲ位記ヲ賜フ

中原邦平

内閣

叙六位

邦平ノ位記

維新史料編纂會委員
常任委員

中原邦平

叙從六位

右者明治十四年十一月陸軍省御用掛ト
ナリ參謀本部翻譯課及編纂課ノ事
務ニ服シ同十八年十二月依願退職ノ後
ハ畢生ノ事業トシテ維新史ノ研究ニ
從事シ造詣スル所頗ル深ク特ニ防長
ノ勤王史ニ關シテハ當代ノ權威タリ
明治四十三年維新史料編纂會ノ前

文部省

身タル彰明會ノ創立セラレ、ヤ山縣松
方井上等諸元勲ヲ輔ケ主トシテ其ノ衝
ニ當リ銳意維新史ノ研究及其ノ史料
ノ蒐集保存ヲ圖リ同志ト俱ニ大ニ努
力經營スル所アリ翌四十四年維新史料
編纂會ノ創設セラレルヤ其ノ委員ヲ
命セラレ更ニ常任委員ニ擧ケラレ總裁ヲ
輔ケテ同會事業基礎ノ確立ニ參畫シ
其ノ功績尠カラズ爾來十閱年或ハ史料
ノ蒐集ニ或ハ史料稿本ノ檢閲ニ從事シ

編纂官ヲ指導誘掖シテ同會事業ノ大成ニ貢獻シタル功績實ニ顯著ナルモノアリ其ノ間傍ラ毛利公爵家ノ囑託ヲ受ケテ同家ノ編纂事業ヲ統督シ更ニ餘力ヲ以テ毛利敬親勤王事蹟二卷井上伯傳七卷ヲ著ハシ維新史ノ研究ニ裨益スルコト尠カラズ然ルニ去月十日病魔ノ侵ス所トナリ爾來百方療養ニ力メタルモ昨今ニ至リ病俄カニ革マリ命旦夕ニ迫レリ冀クハ此ノ際同人前記ノ功績ヲ録セラレ特ニ頭書ノ通叙位ノ榮ヲ與ヘラレンコトヲ茲ニ謹テ奏ス

文 部 省

大正十年三月一日

文部大臣中橋徳五郎



履歴書

府縣 山口縣 平民
 生年 喜永五年六月五日
 名 姓 中原 邦平

明治九年七月廿九日	法學生徒申付候事	司法省
今十年六月八日	法學生徒差免候事	全
今十年七月一日	當省御用掛申付候事	陸軍省
今十年	準判任月給金貳拾五圓下賜候事	全
今十年	翻譯課出勤申付候事	參謀本部
今十年	編纂課出勤兼勤申付候事	全
今十年七月廿五日	自今月給參拾圓下賜候事	陸軍省
今十年七月廿五日	依願當省御用掛差免候事	全
今十年以後	公爵毛利家ヨリ毛利家親父子ノ事蹟編纂ノ囑託セラル	
	目下公爵毛利家記録科主査	
	月俸九拾圓	
明治四年五月十日	維新史料編纂會委員被仰付	内閣
今四年六月廿五日	維新史料編纂會常任委員ノ命ス	
今四年三月廿日	爲手當金八百圓給與	陸軍省
大正二年三月廿日	全 金千圓給與	全
今三年三月廿日	全 金千圓給與	全
今三年三月廿日	静岡縣下興津町へ出張ヲ命ス	全
今三年三月廿日	神奈川縣下小田原町へ全	全
今四年一月廿日	静岡縣下興津町へ全	全
今九年	神奈川縣下小田原町へ全	全
今九年	静岡縣下興津町へ全	全
今九年	爲手當金千圓給與	全
三月五日	爲手當金千圓給與	全
四月廿日	静岡縣下興津町へ出張ヲ命ス	全
五月廿日	全	全
八月廿日	全	全

(乙)

	九月廿五日	神奈川縣下田原町へ出張ヲ命ズ	全	上
大正五年	三月廿日	爲手當金壹千圓給與	全	上
	七月廿日	京都市へ出張ヲ命ズ	全	上
大正六年	三月七日	爲手當金壹千圓給與	全	上
	七月八日	爲手當金壹千圓給與	全	上
大正七年	七月廿日	爲手當金壹千圓給與	全	上
大正八年	七月廿日	爲手當金壹千圓給與	全	上
大正九年	七月廿日	爲手當金壹千圓給與	全	上

履歷用紙

文部省

文 部 省

職甲第二六〇號

中原邦平持旨敘任ノ件

右上奏書及進達候也

大正十年三月一日

文部大臣中橋徳五郎



内閣總理大臣原敬殿

裏面白紙

内閣
多
140号

大正十年三月二日

内閣書記官



宫内事務官

御中

通牒

中
示
知
云

右
從
六位

被
敘
ノ
義

本日御裁可相成候旨出張内閣書記官ヨリ
通知有之候ニ付發令方取計相成度

内閣

裏面白紙

三五

一十五三二
一五九二

一 中 宗 御 手

右特旨ヲ以テ行ハシテ位 宣下相成候ニ付位記竝辭
令及回送候條傳達方御取計有之度候也

大正十年三月二日

宗秩寮總裁代理倉富勇三郎

文部大臣

宮内省

裏面白紙

34